

就

農

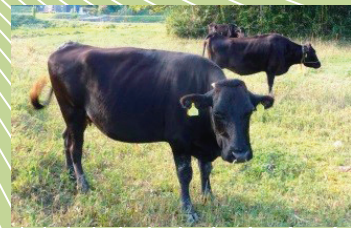
支

援

冊

子

～農業への道～



はじめに

～農業を学んでみませんか～

今、農業の世界では若い方々がたくさん活躍されています。

自然の中で働くことや、自分の作ったものを「美味しい」といって食べてもらえることに魅力を感じて農業を始めた方もいます。

得意なことを活かし、自由な発想と工夫で儲かる経営者になれるのも農業の魅力です。

農業は皆さんが夢を描ける職業なのです。

この冊子では、農業を職業にするまでの道筋や、その道筋を通して農業を始めた先輩の様子を紹介しています。

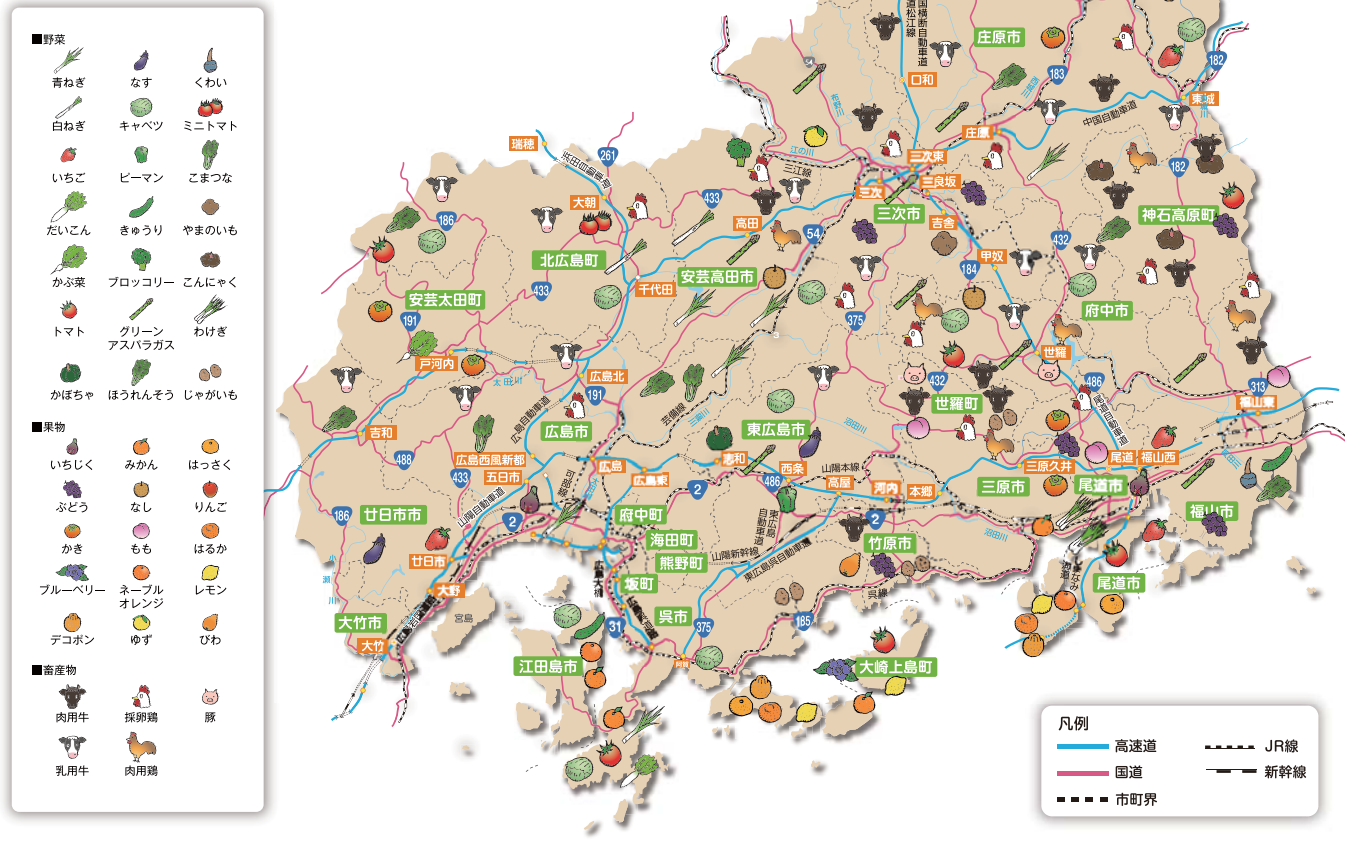
この冊子がみなさんが農業を職業として選ばれるきっかけになれば幸いです。

もくじ

| | |
|-------------------|---|
| 広島県の農業の概要 | ④ |
| 就農までの道筋 | ⑤ |
| 農業高校の紹介 | |
| ● 県立吉田高等学校 | ⑥ |
| ● 県立世羅高等学校 | ⑦ |
| ● 県立沼南高等学校 | ⑧ |
| ● 県立油木高等学校 | ⑨ |
| ● 県立西条農業高等学校(園芸科) | ⑩ |
| ● 県立西条農業高等学校(畜産科) | ⑪ |
| ● 県立庄原実業高等学校 | ⑫ |
| 広島県学校農業クラブ連盟 | ⑬ |
| 県立農業技術大学校の紹介 | ⑭ |
| 就農の方法 | ⑮ |
| 独立自営就農した先輩 | ⑯ |
| 就職就農した先輩 | ⑰ |
| ひろしま農業応援ガイド | ⑱ |
| JA広島中央会の取組み | ⑲ |
| 相談窓口 | ⑳ |

広島県の農業の概要

広島県の農産物



広島県の気象条件は、温暖な瀬戸内海沿岸から、積雪地帯の中国山地沿いまで、変化に富んでいるのが特徴です。その特徴を活かし、上のマップにあるように、温暖な南部ではかんきつ類、冷涼な北部ではりんごが作られているなど、様々な農産物が生産されています。

その農業を生業として先進的な経営を実践している方も県内の各地域にたくさんいます。そうした方たちの声を聞き、現場を見て、農業についてしっかりと理解して農業を選択してもらいたいと思っています。

さらに、農業は今グローバル化の時代を迎えようとしています。地域農業の活性化だけでなく、グローバル化に対応していくため、今広島県の農業は若い皆さんの力を必要としています。

その農業を始めるまでに必要な技術や知識はどのように習得すればよいか、次のページからご紹介します。

農業を職業にしてみませんか？

農業に興味はあるけど、どうやったら始められるの？

農業をしている知り合いもいないし、誰に相談したらいいのか分からないと

悩んでいるあなたへ。農業を職業にするには、様々なルートがあります。

ここでは、代表的なルートを紹介します。

◆農業に関する学科を設置する高等学校で農業を学ぶ

- 広島県内には、農業に関する学科を設置する高等学校が6校*あります。
- 農産物の生産・加工・流通などの知識や技術の基礎を学ぶことができます。

農業に関する学科を設置する高等学校を詳しく知りたい ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 6P~12P

*吉田高等学校、世羅高等学校、沼南高等学校、油木高等学校、西条農業高等学校、庄原実業高等学校

◆農業技術大学校で農業を学ぶ

- 農業技術大学校は、広島県庄原市にあります。
- 農業技術大学校では、実践や体験を通じて、専門的な栽培・飼養管理技術や経営管理について学ぶことができます。

農業技術大学校を詳しく知りたい ⇒ ⇒ 14P



◆農業法人に就職する(就職就農)

- 農業法人で、従業員として働きながら、栽培技術や経営ノウハウを学ぼう。
- 自ら農業経営を始めたい場合は、就職期間中に資金を貯めよう。

◆研修施設や先進農家等で研修する

- 市町や農協の研修施設、先進農家や農業法人で、農作業を経験しながら、栽培技術や経営の基本を習得しよう。
- 研修中に経営のノウハウを学ぼう。
- 研修中に就農のための資金を貯めよう。

独立就農を 目指す場合は



◆就農に向けて準備する

- 農地や機械などを準備しよう。
- また、経営計画(品目、栽培体系、販売先)を作成しよう。
- 地域の人たちとの関係を築こう。

各種支援制度を知りたい ⇒ ⇒ ⇒ 18P

相談先を知りたい ⇒ ⇒ ⇒ 裏表紙



◆就農する(独立就農)

- さあ、あなたも経営者になろう。
- 農業は、創意と工夫で夢を実現できる職業です。

就農した先輩の話を聞きたい ⇒ 16P~17P



広島県立吉田高等学校

住所:〒731-0501 安芸高田市吉田町吉田719番地の3
お問合せ:TEL.0826-42-0031
E-mail:yoshida-h@hiroshima-c.ed.jp
http://www.yoshida-h.hiroshima-c.ed.jp/

アグリビジネス科が耕す地域の力!

●吉田高等学校はこんなところ

本校は、明年(平成29)に創立110周年を迎える県内有数の伝統校です。創立以来、幾多の変遷を経て芸北の拠点校として発展してきました。現在、本校は普通科・生活福祉科・アグリビジネス科の計3学科で構成している総合制高校です。総合選択制を導入し、所属学科以外の教科・科目を選択できるようカリキュラムを工夫しています。文武両道を目指し勉学と部活動に生徒は、一生懸命取り組んでいます。

●学科紹介

アグリビジネス科は、平成23年に学科改編し本年度で6年目を迎える新しい学科です。「生命・食料・ビジネス」に関する専門知識と技術を学び、地域農業の充実・発展を図ることのできる、起業家精神に富む人間性豊かな将来のコーディネータを目指します。本校舎で一般教養科目や座学を中心とする専門科目を学習し、実験・実習は、本校から約2km離れた市の中心部にある実験農場で行います。実験農場には、野菜・果樹実習圃場があり、新たにアグリビジネス科実習棟が完成し、食品製造室や環境制御温室等の専門科目に関する実習室や施設も設置され、恵まれた環境の中で、自らの体験や経験などの実学を通して、充実した実験や実習を展開しています。

★生徒の声★

私は、広島市出身ですが、農業に興味があり、市内の学校を選択せず、農業について深く学びたいと考え、農業科がある吉田高校へ入学しました。現在、「課題研究」という授業で、野菜を専攻し高品質な野菜栽培技術についての研究に取り組んでいます。同じ目標を持った友達と自分を高めながら学習を進める事ができ、吉田高校へ入学して本当に良かったと思います。



アグリビジネス科 3年 富岡 和広さん

授

業

風

景



広島県立世羅高等学校

住所:〒722-1193 世羅郡世羅町本郷870
お問合せ:TEL.0847-22-1118
E-mail:sera-h@hiroshima-c.ed.jp
http://www.sera-h.hiroshima-c.ed.jp

輝かしい歴史と伝統を継承・発展させる

●世羅高等学校はこんなところ

学校創立120年目を迎える歴史と伝統ある学校です。

陸上競技部が全国高等学校駅伝競走大会において、昨年度男子が単独最多となる9度目の優勝を連覇と大会新記録で成し遂げ、女子も劇的な大逆転による初優勝を飾り、『駅伝の世羅』として全国にその名が知られています。



●学科紹介

●学科学習目標:「農業経営に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得すること、チャレンジ精神や、地域の農業や社会に貢献できる実践的な態度を育てる」ことです。

●類型:〔6次産業類型〕商品開発や食品製造など、〔地域営農類型〕植物バイオテクノロジーや農業機械など、専門科目と普通科目の選択幅を広くして多様な進路希望にも対応しています。

●農業経営科のプロジェクト:「せら梨ブランドを守るプロジェクト」(農園・県・町と連携),「生ゴミの堆肥化プロジェクト」(町と連携),「地域の中学校との園芸交流」,「地域の農産物を利用した商品開発」

★生徒の声★

今年、本校の農業経営科では「せら梨ブランドを守るプロジェクト」が始まりました。その中で、世羅町の大型観光農園の方々や農業指導者の方々の話を聞くことができ、私は梨の栽培に大変興味をもちました。高校卒業後は、広島県立農業技術大学の果樹コースに進学し、栽培の基本技術等を学びたいです。そして、大学卒業後には、世羅町の大型観光農園に就職し、梨のスペシャリストとしてせら梨づくりに携わりたいと考えています。



農業経営科 2年 中場 駿治さん

授

業

風

景



農園実習



中和滴定実験



食品製造実習



中学生との園芸交流



文化祭での販売実習



栽培実習

三高三 広島県立沼南高等学校

住所:〒720-0403 福山市沼隈町下山南4
お問合せ:TEL.084-988-0311 FAX.084-988-0045
E-mail: shonan-h@hiroshima-c.ed.jp
http://www.syonan-h.hiroshima-c.ed.jp

～一人一人のドラマを創る～ 体験を通じて、夢を育み、目標を達成する

●沼南高等学校はこんなところ

沼南高校には、「ブドウ」「草花」「イグサ」の栽培を中心とし、地域と密着した魅力的な授業が沢山あります。中でも高級量産として有名な「備後置表」の原材料となるイグサ苗の生産は、この地域の伝統産業の継承に深く関わる重要な取組です。イグサ栽培を行っている学校は、県内でも珍しく本校だけです☆☆



●学科紹介

～くらしと緑のスペシャリストを目指します～

沼南高校園芸デザイン科では、体験的な学習を通して、「食料・農業・環境」に関わる知識と技術を学び、地域農業や地域社会に貢献する人材を育てます。

園芸福祉類型では、草花の栽培からフラワーアレンジメント、ガーデニングおよび園芸福祉活動への活用について学び、草花を通して豊かな生活を提供する力を身に付けます。国家検定「フラワー装飾技能検定3級」の取得に挑戦することができます。園芸技術類型では、地域の基幹作物であるブドウの栽培を中心に、各種園芸作物の栽培に関する知識と技術を習得し、地域農業の課題解決に積極的に取り組む姿勢を身に付けます。

★生徒の声★

私は実家が農家ではありませんが、「大好きなブドウを、自分の手で栽培してみたい。」と思い沼南高校園芸デザイン科に入学しました。3年間の実習でブドウ栽培に関わり、諦めずに努力することの大切さを学びました。高校卒業後は、農業技術大学校でブドウの栽培技術を高め、農業経営について学びたいです。その後、地元に戻り、沼隈町果樹園芸組合で、最高のブドウを栽培し、㊦ブドウを多くの方に届けるのが夢です。



園芸デザイン科 3年 傍田 隼平さん

授
業
風
景



広島県立油木高等学校

住所:〒720-1812 神石郡神石高原町油木乙1965番地
お問合せ:TEL.0847-82-0006
E-mail: yuki.hiroshima-c.ed.jp
http://www.yuki-h.hiroshima-c.ed.jp

【教育理念】郷土・地域を愛し、 発展させようとする人材の育成

●油木高等学校はこんなところ

農業教育を通して学んだ課題解決能力や知的好奇心を生かし、広島県の中山間地域における諸課題を見据えながら地域の課題を発展的に解決していくための想像力や実践力に富み、地域社会のリーダーとして地域の発展と活性化に貢献できる、将来神石高原町を担う人材の育成を行います。

●学科紹介

産業ビジネス科では、2年生より本人の希望により「地域農業実践類型」と「6次産業実践類型」の2類型に分かれて学習を進めていきます。地域農業実践類型では、地域農業の課題を明確にし、この地域の農業のあり方を実践的に検証し、植物の栽培、経営、地域計画、農産物加工等に関わる技術を身に付け、地域発展と活性化に貢献できる地域のリーダーを育てます。6次産業実践類型では、植物栽培の基礎や和牛、ミツバチ等の飼育について学ぶとともに、そのことを産業として地域の活性化につなげていくための実践など様々な農産物を加工して、付加価値をつけるとともに新たな商品開発を行い、農業の6次産業化はかることで、地域の発展と活性化に貢献できる地域のリーダーを育てます。

★生徒の声★

わたしたちの通う油木高校産業ビジネス科は、過疎化、高齢化、農業の担い手不足、耕作放棄地の増加などの地域の課題を解決するために、課題研究で様々な切り口により研究を進めています。私は、山菜班で地域に自生する山菜の利用など取り組んでいます。美味しい山菜を沢山知ることができ、とても楽しく勉強できます。他にもナマス、はちみつなど他の学校にないユニークな取り組みがあり、自らが考え取り組める充実した学校です。



産業ビジネス科 3年 廣保 貴也さん

授
業
風
景



広島県立西条農業高等学校

住所:〒739-0046 東広島市鏡山三丁目16番1号
 問合せ:TEL.082-423-2921
 E-mail:saijyo-ah@hiroshima-c.ed.jp
 http://www.saijyo-ah.hiroshima-c.ed.jp/

【校訓】「創造・実践・育命」

●西条農業高等学校はこんなところ

本校は、明治43年、広島県立西条農学校として創立し、人間性の涵養を校風とするよき伝統を代々受け継ぎ、日本一の農業高校として信頼される学校づくりを推進しています。平成24年度、文部科学省から農業高校としては全国初の「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定を受け、国際的な科学技術系人材を育成することを目指しています。園芸科、畜産科、生活科、農業機械科、緑地土木科、生物工学科、食品科学科の7学科がありますが、この冊子では農業を職業とすることに関連の深い園芸科と畜産科を紹介します。

●学科紹介(園芸科)

園芸科では、草花・果樹・野菜の栽培を中心に園芸に関わる様々な学習を行います。プロでもなかなか作れない大鉢シクラメンや西農市場で好評のブドウ、四季を通じた野菜栽培など園芸植物についての研究と生産の専門的な学習活動を行います。また、「土壌微生物」について有用菌の培養や大学等専門機関との連携を図りながら、科学性を重視した研究等常に創意工夫しています。世界で勝負できる高品質農産物の生産を目標として学習するとともに、「農業のスペシャリスト」として活躍することを目指して学びます。

★生徒の声★

私の実家はブドウ農家であり、将来後継者としてブドウを中心とする多角的経営を目指したいと考えています。現在、園芸科の果樹部門を専攻し、自分の木を担当しながらその栽培について勉強中です。また、1年次には「未来探究セミナー」に参加し、他校生徒と一緒に地域活性のためのプランニングや、農業クラブ連盟意見発表大会の中国大会に出場するなど、私の思いを伝えるため頑張っています。



園芸科 2年 田邊 佑季さん

【西農三訓】 「挨拶励行」 「時間厳守」 「整理整頓」



●学科紹介(畜産科)

畜産科では、動物の生理・生態そしてその生産物の加工、動物の活用について基礎的な知識と技術を学び、「食」を中心とした暮らしを支える人材の育成を目指します。また、SSH研究を通して農業高校ならではの高度な専門性を持った研究に取り組み、将来の科学技術に興味・関心を持った人材の育成を目指します。1年生では科目「農業と環境」「総合実習」でひよこの孵化・飼育及び加工実習を通して家畜の飼育、繁殖・生理生態、また、食について学びます。2年生では酪農、肉牛、養豚、特用家畜部門のどれかを専攻し、「畜産」「SS課題研究I」を通して家畜の飼育、繁殖・生理生態についてより専門的に学びます。3年生では学習の集大成ともいえる「SS課題研究I・II(プロジェクト研究)」を完成させ発表会を行います。

★生徒の声★

私は2年生の時、酪農農家で10日間のインターンシップを体験しました。生き物を相手にしているので仕事に休みはなく、夜の搾乳も遅くまでかかり毎日が大変ではありましたが、1日1日がとても充実しており、高校卒業後は牧場へ就職したいと強く思うようになりました。私の夢は「一人前の酪農家になること」です。まずは、酪農業の牧場に就職して修行をし、経営についても学び、自分の夢がかなえられるよう一生懸命頑張ります。



畜産科 3年 佐々木 愛美さん

授業風景



大鉢シクラメンの栽培



イチゴの高設ベンチ栽培



ブドウの栽培



小学校での栽培指導



県庁・教育長訪問



土壌微生物の実験

授業風景



ソーセージのラベル貼り



乳牛への投薬



和牛子牛の追い込み



サイレージ調整



豚の体重測定



尾長鶏の尾羽長測定

広島県立庄原実業高等学校 (生物生産学科)

住所:〒727-0013 庄原市西本町一丁目24番地34号
 問合せ:TEL.0824-72-2151 FAX.0824-72-2169
 E-mail: shobara-h@hiroshima-c.ed.jp
 http://www.shobara-h.hiroshima-c.ed.jp

【校訓】「質実剛健」

● 庄原実業高等学校はこんなところ

庄原実業高等学校は、創立108年を迎える歴史ある高校です。広島県の北部に位置する農業高校の拠点校であり、生物生産学科、食品工学科、環境工学科、生活科学科の4つの特色ある学科で編成されています。



● 学科紹介

農業の基盤となる生物生産学科では、農業生物の育成を基底に、生産から消費に至るまでの一貫した学習を通して基礎的な知識と技術を体系的に習得させ、地域の担い手となる農業経営者・技術者及び関連産業従事者等の将来のプロフェッショナルを養成します。園芸作物(野菜・果樹・草花)の特性や栽培方法、園芸経営及び園芸デザイン等の園芸生産に関する知識と技術を習得する「園芸流通類型」と産業動物(乳用牛・肉用牛・小中家畜)の飼育管理方法、畜産経営、畜産加工及び動物バイオテクノロジーによる受精卵移植等の動物生産に関する知識と技術を習得する「動物生産類型」があり、どちらかを選択し、学習を深めます。

★生徒の声★

私は1年次に、科目「農業と環境」で園芸と畜産の両方の学習を行いました。将来は、草花の研究に携わりたいと考え、2年生から園芸流通類型での学習を行っています。地域の絶滅危惧種ヒゴタイの生育調査に取り組み、その内容を日本学校農業クラブ全国大会の「意見発表会」で発表する機会に恵まれ、優秀賞をいただくなど、貴重な経験をすることもできました。3年生の科目「課題研究」では、ヒゴタイの増殖に関する研究を行う予定です。私は、将来のプロフェッショナルに向けて、たくさんの知識と技術を身に付けたいと思っています。



生物生産学科 2年 筒井 花厘さん

授

業

風

景



トマトの生育調査



トルコギキョウの定植



インドアガーデン製作



B&Wショーへの参加



和牛の脂肪交雑の測定の様子



フードフェスティバルへ参加して



広島県学校農業クラブ 連盟

住所:〒727-0013 広島県庄原市西本町一丁目24番地34号 (広島県立庄原実業高等学校内)
 問合せ:TEL.0824-72-2151 FAX.0824-72-2169

学校農業クラブでは、自主的・主体的な活動を通してクラブ員の科学性・社会性・指導性を高めることを目標にしています。

● 学校農業クラブとは

全国の農業高校や総合学科の高校に学ぶ、9万人の高校生の全国組織です。農業はもとより、幅広い産業分野で活躍できる優れた資質を身につけるよう自主的・自発的な活動を行い、「科学性」「社会性」「指導性」を高めています。この組織は、「FFJ」とも呼ばれており、「FFJ」とは Future Farmers of Japanの略で、日本学校農業クラブ連盟のことです。

● 活動内容

学校農業クラブでは、農業高校で学んだ学習内容を、プロジェクト発表会や意見発表会、農業鑑定競技会、平板測量競技会などの大会を通じて競い合うことにより、学習の理解を深めています。発表会や競技会は、校内大会、県大会、中国大会があり、それぞれの大会を勝ち抜いた生徒が、最終的には全国大会に出場し、その分野の日本一を決めます。学校農業クラブの全国大会は、各県ごとの持ち回りで開催され、日本中の色々な地域で大会が開かれることも魅力の一つです。全国大会に向け、各県代表、中国ブロック代表を目指し、各校で取組が行われています。

★生徒の声★

学校農業クラブは、農業高校の生徒からなる組織です。プロジェクト発表会や意見発表会、農業鑑定競技会、平板測量競技会などの行事を学校農業クラブの執行部の生徒が主体となって運営しています。各校の学校農業クラブ執行部の代表が集まる総会や役員会では、学校農業クラブ予算や行事予定、発表会や競技会の実施基準、全国大会実施内容についての話し合いが行われます。その他にも他校の人たちと交流する機会があり、親交を深めることができます。他校の人の意見を聞いたり、親交を深めることで、見識も高まり自分の意見の幅を広げる事が出来て、とても良い経験になります。



食品工学科 2年 白幡 直哉さん

授

業

風

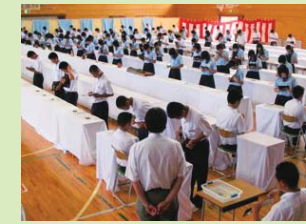
景



プロジェクト発表会



意見発表会



農業鑑定競技会



平板測量競技会



広島県学校農業クラブ連盟総会



農業クラブ全国大会(群馬大会)

【教育目標】「地域農業の核となる担い手の育成」

●農業技術大学校はこんなところ

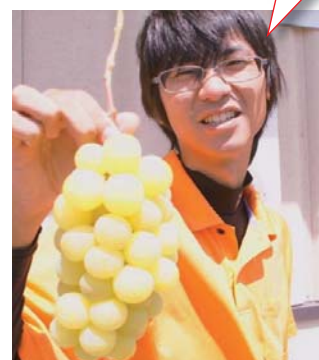
広島県立農業技術大学校は、地域農業の核となる担い手を育成する2年制の専修学校です。野菜、花き、落葉果樹、肉用牛の4専攻コースがあり、実習を中心とした実践学習で経営感覚を身に付けます。また、寮生活を通じて、規律ある生活と人間関係の構築を目指します。

●学科紹介

野菜・花きコースは、入学後約2か月間野菜・花き両方の実習を行った後、野菜専攻と花き専攻に分かれます。野菜はメロン、トマト、キャベツなど、花きはキク、トルコギキョウ、シクラメンなどそれぞれ30品目程度の栽培を経験します。落葉果樹コースは、先輩から受け継いだブドウ、ナシ、モモなどの栽培技術と経営管理技術を学習します。肉用牛コースは、黒毛和種(和牛)の分娩から出荷までの飼養管理と、餌となる飼料作物の栽培管理を学びます。全員、自らテーマを定めて実践し発表・報告するプロジェクト学習や、先進農業経営体で1か月程度の研修を行います。また、農業機械メーカーと連携した水稻の基幹作業や野菜の機械化一貫体系も体験します。

★学生の声★

農業をやるうえで大切なこと、それはつながりや地域貢献だと思います。それはこの学校に入学して、日々の実習で一番思ったことでした。農業は決して楽ではありません。辛い作業もたくさんあります。そんな時に助けてくれるのはクラスメイトや先輩方でした。また草刈りなどしていると近所の方が差し入れをしてくださいます。そんな地域の暖かさに触れられたのも農業の魅力だと思いました。そして、それに気付かせてくれたこの学校に誇りを持っています。



落葉果樹コース 2年
新竹 弘行さん

授



トマトの養液栽培

業



キンギョソウの播種

風



ナシの袋掛け

景



和牛の削蹄実習



最新鋭機械による田植実習



グループワークの発表

就農のパターン

ここまで就農への道筋として、農業高校と農業技術大学校の紹介をしてきました。これからいよいよ就農に向けた準備を本格的にしていくことになります。

しかし、一口に「就農」といってもそのパターンは1つだけではありません。就農には自らが経営者となって農業を行う「独立就農」と農業法人へ就職する「就職就農」という2つの道があります。

ここでは「独立就農」と「就職就農」の違いと、それぞれの道に進まれた先輩の事例をご紹介します。

●独立就農とは

独立就農は、自らが経営者となり栽培方法や販売方法など、自分の思うとおりに経営を展開することができます。「新しいやり方で農業をしたい」といった、開拓心の溢れた方には、独立就農が適しているかもしれません。

その一方で、資金や農地、機械などもご自身で確保していくことになるので、しっかりと計画を立てることが重要になります。

●就職就農とは

農業法人とは、簡単に言うと農業を営む会社です。その農業法人へ就職し、給与を得ながら農業を行うのが就職就農です。

従業員として安定した給与を得られるうえ、将来的な独立就農を目指す場合は、働きながら栽培技術や経営ノウハウを習得できるというメリットがあります。

いずれの就農の仕方を選択しても「どれだけ農業が好きか」が重要な前提条件になります。情熱をもって取り組めると決心したら、あとは一歩前に踏み出すだけです。

それでは次のページから、独立就農をした先輩、就職就農をした先輩、それぞれの事例について見ていきましょう。

独立
就農県立農業技術大学校卒業 **宮澤さん** (福山市在住, 沼隈町果樹園芸組合員)

宮澤博好(みやざわひろみ)さん(28歳)は、県立沼南高等学校から県立農業技術大学校を経て、沼隈町果樹園芸組合員として就農しました。

最初は、10a余りの圃場で、ぶどうの栽培をスタート。2年後から段階的に栽培面積を拡大し、今では、約55aの圃場で、ベリーAを30a、ピオーネ等を25a栽培しています。

現在は、県立農業技術大学校卒業の後輩に手伝ってもらいながら、品質の安定などに取り組んでいます。

● 宮澤さんの就農までの道

農業高校
(県立沼南高等学校)

県立農業技術大学校
(野菜コース、果樹コース)

就農
(沼隈町果樹園芸組合)

◆ 農業を仕事にしようと思ったキッカケは？

実家は柿農家ですが、県立沼南高等学校に進学した時は、まだ、農業を仕事にしようとは思っていませんでした。実家の希望で、農閑期に栽培できるものを学ぶため、県立農業技術大学校の野菜コースに入学・卒業しました。その後、果樹コースに再入学し、実習中心の実践的な勉強をすることができました。果樹コース在学中に沼隈町果樹園芸組合で研修させてもらっていたこともあり、農地の空きが出た時に、沼隈町果樹園芸組合から就農しないかと声をかけてもらったのがきっかけになりました。

◆ 高校や大学で学んだことは？

県立沼南高等学校の園芸デザイン科は、私が入学した年に改編されたばかりで、授業選択の自由度が高かったため、食品衛生の資格を取ったり、土木科で建機の講習を受けたりと、役に立ちそうなことを主体的に勉強しました。県立農業技術大学校では、栽培技術、農業機械の取扱、営農設計など、幅広く実践的な勉強をしました。また、現在、作業を手伝ってもらっている後輩との出会いは、大切な絆です。

◆ 農業を仕事にするのに必要なことは？

農業を始めるためには、農地を借りたり、必要な機械や資材を購入したりする資金などが必要になります。また、何を栽培しても、必ず使うことになる農業機械のメンテナンス技術は必須です。しっかり身につけておいた方が良いです。農業を始めるというのは、事業主になるということです。現実に即した営農設計を何パターンか考えておく必要があるでしょう。



宮澤さんが就農したぶどう団地

沼隈町果樹園芸組合は、昭和29年に設立した、ぶどうの生産・販売を行う組合です。現在、82戸の農家が組合に加入しています。組合員がぶどうの生産を行っている沼隈町は、県内で最大面積を誇るぶどう産地です。

生産面では、スプリンクラーによるかん水^(※1)、肥料や農薬の共同購入^(※2)、農協の堆肥センターで作られた堆肥の利用、共同防除^(※3)により、軽労働化や生産コストの削減を図っています。

また、販売面では、組合員全員が、農協への共同出荷を行ってロット^(※4)を確保することにより、有利販売を行っています。

※1.植物に水を与えること。※2.共同で買い入れること。共同購入することで商品を安く入手することができる。※3.共同で農薬の散布をすること。沼隈町果樹園芸組合の場合は、平坦な圃地で栽培しているため、スピードスプレー(農業噴霧機)による短時間・少人数の防除が可能。※4.最小販売単位のこと。

就職
就農県立農業技術大学校卒業 **向原さん** (神石高原町在住, ㈱ヴィレッジホーム光末)

向原毅(むかいはらつよし)さん(23歳)は、県立西条農業高等学校から県立農業技術大学校を経て、平成26年4月に㈱ヴィレッジホーム光末に就農しました。

法人では主に繁殖牛の管理を任されており、子牛の育成技術の向上に取り組みながら増頭を進めています。

● 向原さんの就農までの道

農業高校
(県立西条農業高等学校)

県立農業技術大学校
(肉用牛コース)

就農
(㈱ヴィレッジホーム光末)

◆ 農業を仕事にしようと思ったキッカケは？

農業高校の実習を通じて、就農を考えるようになり、担任の先生から農業技術大学校を勧められました。大学校に進学後、肉用牛のことについて、より深く学ぶ中で就農することを決めました。

◆ 高校や大学で学んだことは？

高校時代は、厳しい学校であったこともあり、礼儀や規律を身に付けることができ、就農後の人間関係の構築に役立っています。大学校では、畜産の知識を得たことも大きかったです。家畜人工授精師等の資格を取得できたことが大きかったです。また、大学校では、先生との距離が近く、生徒数が少なかったことから、人と人のつながりを得ることができました。このつながりは、現在でも困ったことがあった際に相談し合っており、大切なものになっています。

◆ 学生時代と就農後で、農業に対する考え方はどのように変わりましたか？

就農してからは、学生時代に学んだことや考え方に加えて、経営という視点で考えるようになりました。例えば、種付けの際の血統構成について、学生時代は組み合わせだけを考えていましたが、就農してからは、これに加えて子牛市場でより高い価格で販売できるように、将来的な血統のトレンドを考えるようになりました。発情の見極めについては、一度発情を見逃すと、その分空胎期間が発生し、収益に影響が出てしまいます。そのため、毎回確実に見極めるために、しっかりと観察するようになりました。

◆ 今の仕事の中でやりがいを感じることや大変なことは？また、困ったときはどのように解決していますか？

手をかけた分だけ成果が出ることにやりがいを感じます。具体的には、以前は発情の見逃しが多かったですが、しっかりと牛を見るようにしてからは、見逃しが減り、受胎率が向上しました。大変だったことは、自分の実家では米と野菜の栽培しかしておらず、牛の飼い方について、学生時代に学んだ教科書と実習のことしか分からなかったことです。困ったことについては、会社の先輩や、先輩農家に相談しています。町外出身で不安な部分もありましたが、周囲の方が気にかけてくれて、とても感謝しています。

◆ 将来就農を目指している人にひとこと

学生の間は、自分の専攻のことだけに興味がいってしまいますが、実際に就農してみると、様々な知識が必要になってきます。例えば、牛を飼うのに飼料として稲わらが必要になりますが、そのためには稲作の知識が必要になります。学生の間に、たくさんの人の意見を聞いて、視野を広げてください。



㈱ヴィレッジホーム光末は、平成21年に設立された、農事組合法人です。現在6名の常時雇用者がいます。畜産部門で、繁殖牛17頭を飼育しており、畜産部門以外で、米、飼料米、飼料イネ、野菜(白ネギ、ホウレンソウ、ナス、レタス)を栽培しています。また、モチ等の加工品製造も行っています。

この法人が所在する神石高原町は、古くから肉用牛の飼育が盛んな地域で、近年「神石牛」のブランドを立ち上げるなど、地域が一体となって、肉用牛の振興を進めています。

就農に向けた情報収集はこちら

平成28年, JAグループと広島県が連携して「ひろしま農業応援ガイド」というウェブサイトを開設しました。

このサイトでは, 就農を目指す方のために様々な情報を掲載していますので, 情報収集にぜひご利用ください。



ひろしま農業応援ガイド

検索



※右のQRコードからもアクセスできます。

JAグループ広島 新規就農者育成・支援事業

事業概要

JAグループ広島では, 担い手や行政等との連携により, 就農から経営安定までの一貫した研修・就農支援を行います。

事業対象者

広島県内への就農(自営就農・親の経営継承・農業法人への就職等)を希望する者を事業対象者とし, 申込みに基づき本事業の「研修生」として認定します。

研修カリキュラム

● 営農実践研修

営農現場(担い手等の圃場)を研修先とした技能実習を原則1年間毎日(平日のみ)実施します。

● 営農基礎研修

農業経営や就農に必要な基礎知識の研修を原則月1回(通年)実施します。

◆ 主な研修内容

(1) 生産技術研修

- ・肥料成分とその働き
- ・土壌診断の必要性と活用
- ・農薬の必要性と病虫害防除
- ・農薬使用と生産履歴

(2) 販売戦略研修

- ・広島県の農産物販売戦略
- ・農産物の販売戦略
- ・市場視察・元気市視察
- ・マーケティング論

(3) 農業経営研修

- ・農業経営概論
- ・農業簿記
- ・青色申告
- ・融資制度

(4) その他

- ・就農計画作成
- ・農地法・関係法令等
- ・先輩農家との意見交換会
- ・先輩農家との激励と交流会

就農支援

行政等関係機関と連携し, 就農に必要な農地等の確保および就農後の経営安定等について支援します。

広島県内で
新規就農を目指す方々が
営農基礎研修を
受講しています!!



就農の御相談はこちら

| | 相談窓口 | 担当地域 | 連絡先 |
|--------|--|---|--------------|
| 県庁 | 農林水産局 就農支援課 新規就農グループ 〒730-8511 広島市中区基町10-52 | 広島県全域 | 082-513-3531 |
| 県指導機関 | 西部農業技術指導所 〒739-0151 東広島市八本松町原6869 | 広島市, 呉市, 竹原市, 大竹市, 東広島市, 廿日市市, 安芸高田市, 江田島市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸太田町, 北広島町, 大崎上島町 | 082-420-9661 |
| | 東部農業技術指導所 〒720-8511 福山市三吉町1-1-1 | 三原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 世羅町, 神石高原町 | 084-921-1311 |
| | 北部農業技術指導所 〒728-0013 三次市十日市東4-6-1 | 三次市, 庄原市 | 0824-63-5181 |
| J A | 広島県農業協同組合中央会 広島県JA営農支援センター 〒730-0051 広島市中区大手町4-7-3 | 広島県全域 | 082-243-6244 |

※就農したい市町が決まっている場合は、各市町へもご相談いただけます。

関連情報(こちらもぜひご覧ください)

- 農林水産省(農業を始めたい皆さんを応援します!)
URL: http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/index.html
- 全国新規就農相談センター
URL: <http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>
- JAグループ広島
URL: <http://www.ja-hiroshima.or.jp/>
- 広島県農業会議所
URL: <http://h-kaigi.jp/>
- 一般財団法人 広島県森林整備・農業振興財団(農地中間管理機構)
URL: <http://hsnz.jp/kikou/index.html>

広島県農業教育連絡協議会

☆この冊子に関するお問合せ先☆

広島県就農支援課 新規就農グループ
〒730-8511 広島市中区基町10-52
TEL: 082-513-3531
E-mail: noushien@pref.hiroshima.lg.jp